

研究のねらい

令和4年度 前橋特別研修研究員

前橋市立大胡小学校 小島 和樹

児童が既習事項を活用し、見通しをもって問題解決に取り組めるようにするために、「一人一人のつぶやきを生かした見通しづくり」と「学びの実感を生み出すふきだしの活用」を行うことの有効性について実践を通して明らかにする。

【児童の実態】

問題に出会った際に、解決の糸口を見いだすことができないまま、自ら問題解決を進められない児童が多い。学習したことのつながりがもてていないため、出会う問題に対してどのような既習事項を活用すれば解決できるのかという見通しを立てることができていない。

【指導上の課題】

一部の児童とのやりとりを基に教師主導で授業のめあてをつくり、問題解決の時間に入ってしまうことが多かった。また、既習事項を想起させる場面が授業の中で乏しかったため、既習事項が課題解決につながるという実感をもたせることが不十分だった。

実践内容

算数科 第5学年 図形の角を調べよう （全6時間）

目指す児童像

算数科において既習事項を活用し、見通しをもって問題解決する児童

【手立て2】 学びの実感を生み出すふきだしの活用

学習をまとめる

自分の気づきや考えを表出したふきだし

今日学習したことは次の学習にも生かせそうだ！

自分が立てた見通しとまとめをつなげ、今日の問題と既習事項のつながりを実感するためのふきだし

友達の考えの良さや違いなどに気づき、自分の学びとつなげるふきだし



ふり返りをつなげることで既習事項を問題解決に生かすことができたという学びを実感

前の学習を生かせば、新しいことも解決できるんだな

やっぱり自分が立てた見通しでよかったんだ

自分の取組に対して価値付け

あの考え方とここが似ている



こういう考え方もできるんだ！まねしたいな

気づき、考えの可視化

毎時間の学習過程

めあての追究

めあての設定

【手立て1】 一人一人のつぶやきを生かした見通しづくり

何を活用して解決するか判断

つぶやきを基に学習の方向性を確認

Jamboardを使ってつぶやきの共有

本時の課題解決のための見通しをもつ機会を確保する

前の時間の学習が使えるそう



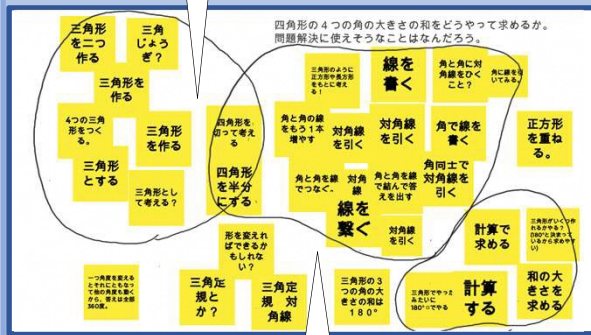
ここが前の学習と違うよ

声にならないつぶやきの可視化

【手立て1】

一人一人のつぶやきを生かした見通しづくり

一人一人がつぶやきをJamboardに付箋で入力



児童とのやり取りをしながら、つぶやきを分類

他の子も同じことを考えているんだなあ

そんなこと学習したなあ

今日の問題解決に使えるようなことが分かったぞ

これなら自分の力でできそうだな

みんなのつぶやきを基にすると、
どんな見通しがたてられるかな

全員が解決への見通しをもてるようにする

実践後の児童の感想

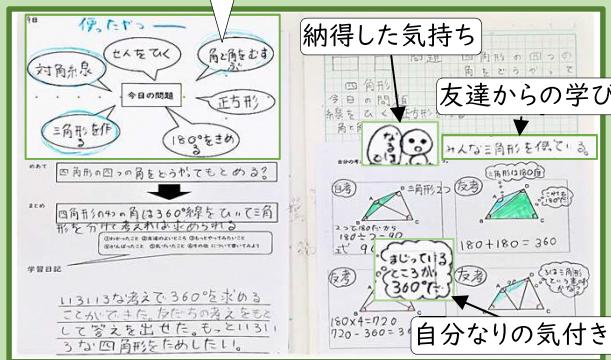
- ・Jamboardに出されたみんなの意見を見て自分から考えてみようと思いました。みんなと算数をしている感じがして、安心感から自分でがんばることができました。
- ・Jamboardを使い見通しづくりをしたら、一人では難しい問題も解決することができるようになりました。

【手立て2】

学びの実感を生み出すふきだしの活用

ふきだしノート…見通し・めあて・まとめ・
学習日記を1ページに書くようにすることで
自分の学習をひと目で実感できるようにする

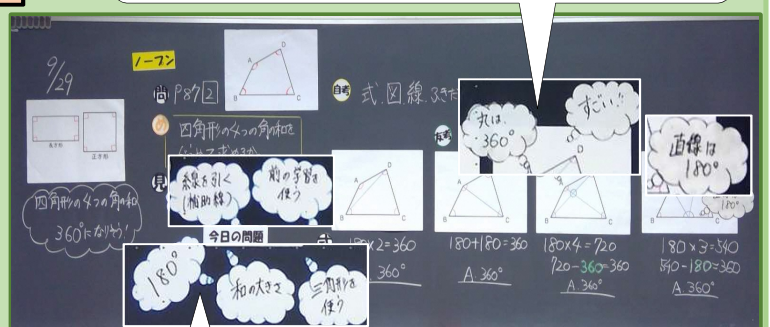
自分なりの見通しをふきだしとして記入
問題解決につながったと思うふきだしには色づけ



左：ふきだしプリント

右：思考ページ

授業中の児童とのやり取りの中の言葉や児童の
ノートに書かれた気付きや考えをふきだしとして
可視化し全体で共有



手立て1の見通しを移動できるふきだしにして黒板に
可視化しておくことで、既習事項とのつながりを意識

みんなが最初に立てたこの見通しは、
今日の問題のここにつながったんだね

実践後の児童の感想

- ・「分からない」というふきだしを書いたこともあったけど、友達の考えを見て頑張って問題が解けたときに「そういうことか!」というふきだしを書けてとてもすっきりしました。
- ・ふきだしを使うと、問題の「こんなことを使えば解ける!」などのひらめき書き留められました。
- ・自分の思ったことがふきだしで書けるし、見通しを問題に生かしたのが分かってうれしかったです。

成果

- Jamboardを使うことで、リアルタイムに友達と
考えを共有することができるため一人一人が課
題を捉えるとともに見通しをもち問題解決に
取り組むことができるようになった。
- ふきだしを使いながら、既習事項とのつながり
や気付き、ひらめきを表現することで学びをよ
り実感できるようになった。教師にとっても児
童の思考を見取りやすい。

課題

- ◇授業の冒頭でJamboardを活用し、見通しづくりを
するとタブレット操作に時間がかかるため、めあて
を追究する時間やまとめる時間との時間配分が課題
となる。
- ◇ふきだしをたくさん書けるようになってきたからこ
そ、既習事項と自分の考えや気付きのふきだしを区
別して色をつけることで、本時の問題と既習事項の
つながりをより意識できるようにしていくとよい。